

子どもたちよ！世界へはばたけ！！

～クロスカントリースキー 新田佳浩選手に学ぶ～

1 趣 旨

- ・新田選手の生き方に触れることで、夢や希望をもつことの大切さや困難に立ち向かおうとする人間の強さについて考える子供を育てる。
- ・スポーツ栄養学や交流の家での生活から、日常の食事を大切にすることや時間を守ることなど基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。

2 事業の概要

(1) 期 日 平成28年 2月 6日(土)～ 7日(日)【1泊2日】

(2) 参加者 全日程参加14名 (1日目夜の参加 計77名 2日目午前の参加 計110名)

(3) 主な研修内容及び講師

1日目午後	○オリエンテーション ○スキー用具の説明・準備
1日目 夜	○講演「スポーツ栄養学」 講師：大塚製薬株式会社 鎌倉竜太 氏 ○講演 新田佳浩選手のお話「クロスカントリースキーから学んだこと」 講師：日立ソリューションズ 新田佳浩 氏
2日目午前	○実技「新田選手と滑ろう (クロスカントリースキー)」 講師：日立ソリューションズ 新田佳浩 氏

3 成果と課題

《成 果》

- ・ 冬季、当施設の人気活動プログラムである歩くスキーにちなみ、日立ソリューションズに所属するクロスカントリースキー選手の新田佳浩氏を講師として迎えた。昨年度も新田選手を招いた事業を3月上旬に実施したが、あいにく積雪がなく滑走することができなかった。その経験を踏まえ、2月上旬に実施したところ天候にも恵まれ、講演・実技とも実施することができた。
- ・ 講演「クロスカントリースキーから学んだこと」では、2010年バンクーバーパラリンピックで2種目で金メダルを獲得し、今もなお現役で活躍する新田選手の言葉を聴き、醸し出す雰囲気を感じ取り、参加者にとって良き出会い、良き学びとなった。参加者のアンケートから「失ったものを数えず、あるものを最大限に生かせ」「不可能を可能性と信じる心」「一流になるためには挨拶、時間を守る、道具を大切に使う」「協力をする」「感謝する」「大切なことは常識+革新的な発想」「考え方はポジティブに」「悔しい時は、グチを吐けばよい」「あきらめなければだれでもできる」等、数々のフレーズが印象に残ったことが伺えた。
- ・ 実技「新田選手と滑ろう (クロスカントリースキー)」では、まず新田選手のデモンストレーションからスタートした。参加者は、新田選手のスピードあふれ、ハンディをものともしない力強い滑走

を間近で観ることができた。「新田選手の滑りに感激して、私もその気になって滑れました。」という声があったように、これから滑走する参加者への意欲を与えるきっかけとなった。

- ・ 大塚製薬から講師を招いて、スポーツ栄養学の話や、交流の家で規則正しい生活を送ったりすることで、基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行うことができた。また、スポーツ栄養学の話は、これから育ち盛りを迎える小学生やその保護者、さらに運動部に所属する高校生に、食事内容や摂るタイミングなど有益な情報を与えることができた。
- ・ 講演後、参加者が新田選手へ国旗に応援メッセージを書き込めるコーナーを会場近くに設けた。参加者が新田選手の活躍をこれからも期待する気持ちを表現できたようだ。

《課 題》

- ・ 本事業は年度当初に島根県雲南市内小学校のPTA活動と連携を図り、講演を雲南市で予定していた。それに伴い雲南市内の小学校、中学校、スポーツ団体を中心に広報して参加者を募集した。しかし諸事情により、日程を変更して当施設で開催した。また、当日は宿泊団体にも講演や実技への参加を広く呼びかけ、たくさんの参加があったが、今後は連携先や広報方法、日程等の工夫・改善をして、多くの子供達に貴重な出会いや学びを提供していく必要がある。

(担当：企画指導専門職 今井 隆雄)

